



# 共栄小だより

〈年度の重点〉 「主体的に学び、共に考え、やり抜く子どもの育成」

旭川市立共栄小学校 学校通信 令和5年度 第7号 令和5年9月30日



## 校長室から

校長 鎌田 昌記

### 恵まれた環境の中～元気はつらつ共栄っ子

暑さも一段落して朝夕はめっきり涼しくなり、軒先や草むらから聞こえる虫の声、薄黄色に色づきはじめた木の葉など、秋の深まりを感じさせる季節となりました。

そのような中、共栄小の子どもたちは毎日元気に過ごしています。屋内では、授業中活発に友達と意見交換をしたり発表したりする声が校舎内のあちこちで響き渡っています。中休みや昼休みともなると、外の築山やふれあい広場で友達と一緒に笑顔いっぱい元気な姿が見られます。

冬に向けての準備なのか、学校の敷地内に棲みついているエゾリスが、時折姿を現すことがあります。素早く走り回って木々を渡り歩く愛くるしい姿を運良く目にした子どもたちは歓声をあげ、目を輝かせています。また、トンボやバッタなどが校内の草むらを飛び回っており、休み時間には虫達を追い掛ける姿も見られます。共栄小の子どもたちが恵まれた環境の中で、学び、体験できていることを実感する瞬間です。

### 学習発表会取組開始～ご声援を

さて、秋は「学問の秋」や「芸術の秋」とも言われますが、学校においても学習の成果を保護者の皆様にご覧いただく機会が近づいてきました。来月10月28日（土）に開催される第37回目の学習発表会です。現在、本番に向け、役割分担などの諸準備や練習をすすめています。各学年20分という限られた時間ではありますが、内容に工夫を凝らし、全員が参加、発表します。保護者の皆様のご観覧については、学年ごとの入れ替え制をとらせていただきますが、日頃の学習の成果を発表する子どもたちに、温かい拍手とご声援を賜りますよう宜しくお願いいたします。

### 正しい電子機器の使用について～ご家庭でもお話を

先日、スマホやタブレット等によるゲームや動画、SNSなどの利用に関する心身への影響についての記事を目にしました。その中で、新潟県の赤十字病院の小児科医から次のような見解が示されていました。

- 長時間ゲームやインターネット等を利用している人には、麻薬・覚醒剤中毒患者と同じような変化が脳の中で起きている
- バトルロイヤル系など攻撃的なゲームを長時間続けると、興奮作用のあるアドレナリンが脳内に分泌され、行動や言動が攻撃的になる傾向が強くなる
- 寝る前や深夜に電子機器を利用すると、脳が休まらず、睡眠の質に悪影響を及ぼす
- SNSなどの利用を子ども任せにすると、様々なトラブルの原因となる可能性が高く、子ども同士の人間関係や心身に悪影響を及ぼす
- 子どもは自分をコントロールすることがうまく出来ないため、学習や食事、睡眠などよりも、ゲーム、インターネット、SNSなどの利用を優先してしまい、依存症傾向の小中高生が急増している

ICT機器は便利な反面、長時間の利用が心身に悪影響を及ぼし、生活や学習に支障をきたす可能性があります。また、誤った利用によりトラブルや犯罪に巻き込まれる可能性が高いのです。そうしたことを子どもたちにきちんと教えていく責務が、私たち大人にはあると考えます。

子どもたちの健康と安全を最優先に考え、使用時間や正しい利用方法などについて、ご家庭でもお子様とお話いただけますよう宜しくお願いいたします。